

株式交換に関する事前開示書類の変更事項

(会社法第 794 条第 1 項及び会社法施行規則第 193 条第 6 号に基づく変更後の事項の開示)

2024 年 6 月 27 日

日本パーカライズング株式会社

2024年6月27日

株式交換に係る事前開示書面の変更事項

東京都中央区日本橋一丁目15番1号
日本パーカライジング株式会社
代表取締役 青山雅之

当社は、2024年2月7日付でパーカー加工株式会社（以下「パーカー加工」といいます。）との間で締結した株式交換契約に基づき、2024年7月1日を効力発生日として、当社を株式交換完全親会社、パーカー加工を株式交換完全子会社とする株式交換を行うこととし、会社法第794条第1項及び会社法施行規則第193条に定める事前開示事項を記載した書面（以下「本事前開示書類」といいます。）を備置しておりますが、今般、その記載事項の一部に変更が生じたので、会社法第794条第1項及び会社法施行規則第193条第6号の規定に基づき、下記のとおり変更後の事項を開示いたします。

記

2024年6月27日開催のパーカー加工の定時株主総会において、2024年3月期に係る計算書類等が承認されましたので、本事前開示書類の「別紙2」の内容を、別紙のとおり変更いたします。

以上

別紙 株式交換完全子会社の最終事業年度に係る計算書類等の内容

次ページ以降をご参照ください。

報 告 書

〔 令和5年 4月 1日から
令和6年 3月31日まで 〕

1. 事業の経過および成果

当期における経済情勢は、社会、経済活動がほぼ正常に戻る中で企業の生産活動は回復傾向で推移しました。経済界では賃金上昇機運が高まり個人消費の回復が期待されましたが、世界的な資源、エネルギー価格の上昇によって国内の物価も上昇が続いており、為替変動の影響も懸念される中で経済は不透明な状況で推移致しました。

当社を取り巻く事業環境をみますと、主な供給先である自動車業界では、半導体など自動車部品の供給不足が解消されて生産台数の回復がみられ、特に個人消費の底堅い米国向け輸出の増加によって国内生産台数は高水準で推移しました。しかし顧客の品質問題による出荷停止の影響及び中国での生産減少などが当社の受注環境に影響を及ぼし、一部顧客及び地域では減産となる状況で推移しました。

当社ではこのような環境下、営業活動の強化と工場における原価削減、また材料価格上昇を転嫁する値上活動の全社展開などの施策を通じて、収益の確保を図りました。

この結果、当期実績は、売上高 84 億 4 千万円（前期比 1. 4%減）、営業利益 18 億 4 千 9 百万円（前期比 12. 6%減）、経常利益 23 億 3 千 5 百万円（前期比 6. 4%減）、税引前当期純利益 22 億 5 千 5 百万円（前期比 9. 6%減）、当期純利益 16 億 5 百万円（前期比 9. 2%減）となりました。

当期の資本支出においては、27 億 4 千 3 百万円の設備投資を行なっております。支出内訳は、門真工場の廃水処理設備更新に 1 千 6 百万円、静岡工場化成処理ライン設備更新に 3 千 6 百万円、豊橋工場および阪神工場塗装ライン設備更新に 6 千万円、各工場の生産効率向上を図るための設備更新に 9 千 5 百万円、その他浜松工場リニューアル工事に 25 億 3 千 5 百万円となっております。

なお、浜松工場リニューアル工事の 25 億 3 千 5 百万円には、前期に建設仮勘定として計上しております 15 億 1 千 8 百万円の振替が含まれております。今後も会社の持続的成長を図り「観せられる工場」づくりを推進するために、必要な設備投資を継続的に実施して参ります。

国内子会社である大分パーカライジング、小松パーカライジングを含む連結実績は、売上高 95 億 8 千 9 百万円（前期比 0. 9%増）、営業利益 20 億 3 千 2 百万円（前期比 7. 3%減）、経常利益 25 億 1 千 9 百万円（前期比 2. 0%減）、税引前当期純利益 24 億 3 千 8 百万円（前期比 5. 0%減）、当期純利益 17 億 6 千 3 百万円（前期比 2. 9%減）となりました。

海外子会社である Parker Processing Vietnam の業績（2023 年 1 月～2023 年 12 月）につきましては、売上高 16 億 4 千 7 百万円（前期比 1. 7%減）、営業利益 3 億 6 千 5 百万円（前期比 2. 3%減）、経常利益 4 億 7 千 2 百万円（前期比 1. 9%増）、税引前当期純利益 4 億 6 千 8 百万円（前期比 1. 0%増）、当期純利益 3 億 9 千 4 百万円（前期比 3. 2%増）となっております。

当期の財務状況については、自己資本当期純利益率（ROE）7. 6%、総資産経常利益率（ROA）9. 4%、自己資本比率 85. 0%となっており、今後も引き続き資本効率の向上を図って参ります。

2. 会社に対処すべき課題

当社では、会社の持続的成長を確実にするために中期経営計画を策定し推進しております。当期は 2022 年度から 3 年間の中期経営計画「VISION103」の 2 期目となっており、計画達成に向け取り組んで参りました。当期の状況については、主な受注市場である輸送機器関連で新規開発の伸び悩みもあり、計画達成率は売上高 92. 1%、営業利益 81. 8%と計画比減収減益となっておりますが、計画の各

施策を確実に推進することで VISION103 の目標を達成すべく取り組んで参ります。

安定した収益力を維持し、今後も成長を続けるためには売上の拡大が不可欠です。顧客市場をみると、カーボンニュートラル、SDGs の推進に対応して電動化など新技術への移行を加速化しており、部品の表面処理に求められる技術ハードルもより高くなっております。当社は、この需要に応えるために実績のある独自技術に加え、新たな技術の導入も進めて営業展開を図り、受注拡大につなげて参ります。また関西地区において新たな生産拠点の検討を進めており、市場の拡大を図って参ります。

更には、VISION103 の推進を通じて当社が長期展望として掲げる「10 年後ビジョン」の実現に向けて取り組んで参ります。

貸借対照表

(令和 6年 3月31日現在)

パーカー加工株式会社
(単位 円)

資 産 の 部		負 債 及 び 純 資 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【資産の部】	24,933,879,647	【負債の部】	3,715,581,766
流動資産	14,567,217,743	流動負債	2,319,835,166
現金及び預金	1,898,338,758	支払手形	2,819,625
受取手形	95,445,910	電子記録債務	264,357,916
電子記録債権	1,101,131,147	買掛金	354,961,448
売掛金	1,393,722,588	未払金	767,958,505
商品	4,495,025	未払費用	98,395,844
原材料	129,967,483	リース債務	6,264,060
貯蔵品	291,950	未払事業所税	15,049,600
未収消費税	184,750,900	未払法人税等	298,000,000
短期貸付金	9,545,238,695	賞与引当金	380,525,000
前払費用	40,250,297	役員賞与引当金	10,500,000
その他流動資産	173,593,056	設備手形	52,386,884
貸倒引当金	△8,066	その他流動負債	68,616,284
固定資産	10,366,661,904	固定負債	1,395,746,600
有形固定資産	6,288,237,326	リース債務	11,311,850
建物	2,495,952,642	退職給付引当金	1,298,307,250
構築物	66,093,980	役員退職慰労引当金	78,627,500
機械及び装置	1,377,048,617	預り保証金	7,500,000
車輛及び運搬具	11,618,380		
工具、器具及び備品	77,387,148	【純資産の部】	21,218,297,881
土地	2,209,066,459	株主資本	20,565,225,481
リース資産	15,978,100	資本金	416,000,000
建設仮勘定	35,092,000	資本剰余金	188,586,137
		資本準備金	188,586,137
無形固定資産	19,672,643	利益剰余金	20,157,536,077
電話加入権	6,369,554	利益準備金	123,000,000
ソフトウェア	13,303,089	その他利益剰余金	20,034,536,077
		固定資産圧縮積立金	113,102,062
		別途積立金	2,433,800,000
		繰越利益剰余金	17,487,634,015
投資その他の資産	4,058,751,935	自己株式	△ 196,896,733
投資有価証券	1,467,243,837		
関係会社株式	527,000,000	評価・換算差額等	653,072,400
関係会社出資金	448,054,000	その他有価証券評価差額金	653,072,400
長期貸付金	156,666,671		
長期前払費用	17,359,604		
繰延税金資産	251,585,713		
その他の投資	1,195,842,580		
貸倒引当金	△ 5,000,470		
計	24,933,879,647	計	24,933,879,647

損益計算書

〔自令和 5年 4月 1日〕
〔至令和 6年 3月 31日〕

パーカー加工株式会社
(単位 円)

科 目	金 額	
I 売 上 高		8,440,430,883
II 売 上 原 価		5,286,705,369
売 上 総 利 益		3,153,725,514
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,303,936,492
営 業 利 益		1,849,789,022
IV 営 業 外 収 益		554,800,631
受 取 利 息	11,353,723	
受 取 配 当 金	180,750,893	
受 取 口 イ ヤ リ テ	87,155,127	
受 取 賃 貸 料	104,105,662	
受 取 保 険 金 益	117,941,947	
貸 倒 引 当 金 戻 入	20,648	
為 替 差 益	3,019,928	
雑 収 益	50,452,703	
V 営 業 外 費 用		69,065,348
賃 貸 物 件 費 出	28,660,056	
雑 支 出	40,405,292	
経 常 利 益		2,335,524,305
VI 特 別 利 益		64,543
固 定 資 産 売 却 益	64,543	
VII 特 別 損 失		79,942,482
固 定 資 産 除 却 損 失	27,942,482	
そ の 他 特 別 損 失	52,000,000	
税 引 前 当 期 純 利 益		2,255,646,366
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	642,881,244	
法 人 税 等 調 整 額	6,832,558	649,713,802
当 期 純 利 益		1,605,932,564

株主資本等変動計算書

(自令和 5年4月1日～至令和 6年3月31日)

パーカー加工株式会社
(単位 円)

	株主資本									評価・換算差額等	純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金			
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金								利益剰余金合計
				固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金						
令和5年4月1日残高	416,000,000	188,586,137	123,000,000	114,627,114	2,433,800,000	16,416,527,747	19,087,954,861	△ 195,751,233	19,496,789,765	445,218,012	19,942,007,777	
当会計期間中の変動額												
剰余金の配当						△ 536,351,348	△ 536,351,348		△ 536,351,348		△ 536,351,348	
圧縮積立金の取崩				△ 1,525,052		1,525,052	0		0		0	
当期純利益						1,605,932,564	1,605,932,564		1,605,932,564		1,605,932,564	
自己株式の取得								△ 1,145,500	△ 1,145,500		△ 1,145,500	
株主資本以外の項目の当会計 期間中の変動額(純額)										207,854,388	207,854,388	
当会計期間中の変動額合計	-	-	-	△ 1,525,052	-	1,071,106,268	1,069,581,216	△ 1,145,500	1,068,435,716	207,854,388	1,276,290,104	
令和6年3月31日残高	416,000,000	188,586,137	123,000,000	113,102,062	2,433,800,000	17,487,634,015	20,157,536,077	△ 196,896,733	20,565,225,481	653,072,400	21,218,297,881	